

第14回平泉文化フォーラム

岩手県では、平泉の文化遺産の調査・発掘・研究を行ってきており、その調査結果等を広く県民の皆様方にお知らせしています。

この一環として、岩手県教育委員会と「いわて高等教育コンソーシアム」(岩手大学、岩手県立大学、岩手医科大学、富士大学、盛岡大学)が主催し、平成26年2月1日(土)・2日(日)、一関文化センター(一関市)にて、『第14回平泉文化フォーラム』を開催します。

今回の平泉文化フォーラムの開催に併せ、平泉文化をもっと良く知る「平泉文化フォーラム・バスツアー」を企画いたしました。

この機会に専門家の解説を聞きながら、平泉文化に触れてみませんか？
皆様のご参加をお待ちいたします。

- 日時** 平成26年2月1日(土) 8:00～18:30
※本ツアーは日帰りのため、2日(日)のプログラムには参加できません。
- 集合** 岩手大学正門前(全行程大学貸切バス、バス料金無料)
※お車で来学される方は、大学の駐車場を利用できます。(無料)
- 参加料** 無料(ただし昼食代金は各自での負担となります)
※1,000円で昼食をお申し込み頂けます。
料金は当日お支払い頂きます。
- 定員** 45名(先着順に受付します。)
- 行程**
- | | |
|-------------|------------------------------|
| 7:45 | 岩手大学正門前集合 |
| 8:00～10:00 | 移動(一関博物館へ) |
| 10:00～11:30 | 一関市博物館 見学 |
| | 解説・案内 一関市博物館 副館長兼学芸係長 小岩弘明 氏 |
| | テーマ 「骨寺荘園遺跡の魅力」 |
| 11:30～12:30 | 道の駅巖美溪にて昼食・休憩 |
| 12:30～13:00 | 一関文化センターへ移動 |
| 12:50 | 一関文化センター到着 |
| 13:00～ | フォーラム開始 |
| 17:00 | 平泉文化フォーラム終了・移動 |
| 18:30頃 | 岩手大学到着・解散 |
- 対象** どなたでも参加できます。
- お申込** 平成26年1月22日(水)までに電話、FAX、メールのいずれかでお申し込み下さい。
FAX・メールによるお申し込みの際は、郵便番号・住所・氏名(読み方併記)、電話番号・昼食のご希望有無をご記載下さい。

平泉文化フォーラム バスツアー

—お申し込み、お問い合わせ先—

岩手大学地域連携推進センター

TEL: 019-621-6492, 6852

FAX: 019-621-6493

Eメール: renkei@iwate-u.ac.jp

第14回平泉文化フォーラム 2月1日(土)の内容

- 主催 岩手県教育委員会、いわて高等教育コンソーシアム(構成大学:岩手大学、岩手県立大学、岩手医科大学、富士大学、盛岡大学、放送大学 岩手学習センター、一関工業高等専門学校)
- 共催 一関市教育委員会、奥州市教育委員会、平泉町教育委員会
- 日程 13:00～13:10 開会行事
- 13:10～14:40 基調講演
テーマ 「仏教建築にみる平泉文化の特質」
講師 東京工芸大学名誉教授 清水 擴 氏
- 14:55～17:00 遺跡報告と共同研究発表
- 無量光院跡の調査成果 (平泉町教育委員会)
 - 骨寺村荘園遺跡の調査成果(一関市教育委員会)
 - 白鳥館遺跡の調査成果 (奥州市教育委員会世界遺産登録推進室)
 - 四面廂建物からみた平泉の都市景観(山形大学 荒木 志伸 氏)
 - 東アジアにおける「平泉」思想の成立と展開過程の研究(岩手大学 平泉文化研究センター 伊藤 博幸 氏)

一関市博物館

一関市博物館は、自然豊かな一関市の歴史と文化を証する資料を収集・保存・研究し広く紹介するとともに、市民の生涯学習の場として機能する人文系博物館です。展示室は、「一関のあゆみ」「舞草刀と刀剣」「玄沢と蘭学」「文彦と言海」「一関と和算」のテーマを持った5つの常設展示室と、年4回の企画展・テーマ展示を行う企画展示室があります。また、平成20年に通史展示室の「骨寺村荘園遺跡ブース」を改修し、内容を充実一新しています。



お申し込みフォーム

ふりがな 氏名	電話
	携帯電話
	FAX
住所	
E-mail	
昼食のご希望	有 ・ 無 (どちらかのボタンにチェックを入れてください)

お問い合わせ・お申し込み先……岩手大学地域連携推進センター

FAX:019-621-6493 TEL:019-621-6492、6852 E-mail:renkei@iwate-u.ac.jp